

## § 教官の学内役職

松井先生	地理学科主任・図書館運営委員・図書選定委員
浅井先生	1年生補導委員・評議員・施設計画委員・臨海実験所運営委員・館山土地利用計画委員
浅海先生	4年生補導委員・建築委員長・ラジオアイソトープ実験室準備委員・カリキュラム委員
式先生	3年生補導委員・人文科学紀要編集委員長・臨海実験所運営委員・館山土地利用計画委員・臨時学生会館運営委員
正井先生	2年生補導委員

中原 敦子	(本学昭42卒)	人文地理学
杉本 良子	(本学昭30卒)	〃
玉城 恵子	(本学昭43卒)	〃
金子 晶子	(本学昭35卒)	〃
瀬尾 由紀	(本学昭45卒)	自然地理学及図書整理
二瓶 直子	(本学修士昭44卒)	自然地理学
林原 陽子	(本学修士昭43卒)	地誌学及空中写真整理

## § 学会関係

45年4月26～29日の4日間にわたって、1970年日本地理学会総会及春季大会が行われた。研究発表は岸記念体育館で行われ、本学関係発表者は次の通りである。長瀬睦子氏(1回生)：八日市場附近の地形(他2名と共同研究)、林原陽子氏(14回生)：大磯地塊西部曾我山礫層の堆積の成因について、二瓶直子氏(15回生)：本邦における日本住血吸虫病の医学地理学的研究。巡検は、市街地再開発と商業機能の変化(都心及東京東部)、東名高速自動車道周辺地域の変容、郡内地方・甲府盆地の土地利用・伝統産業、相模川の河岸段丘、の4班に分れて行われた。

秋季大会は10月10日～13日の4日間、人文地理学会と合同で奈良女子大学で開催された。「歴史時代における中心集落」、「土地分類」、「行政地域の再編成と道州制をめぐる」の3シンポジウムを中心として行われ、このうち「土地分類」において浅海先生の「台地地域の土地分類」

式先生の「土地分類の概念」の発表が行われた。一般研究発表の本学関係発表者は瀬戸玲子氏（2回生）：淀川・大和川・紀ノ川水系利水現況図の作成について。巡検は紀伊半島縦断、伊賀北勢地区・近江・若狭方面、奈良盆地の4班に分れて行われた。

46年4月4日～7日の4日間、1971年度春季大会がお茶の水女子大学で行われる。浅井先生、内藤先生を中心として教室内にも準備委員会がつくられ、準備を進めている。

正井先生は45年4月1日より20日まで、国際地理学連合都市化委員会シンポジウム（ロンドンで開催）に出席され、フランス・西ドイツ・トルコ・イランの各国をまわられた。

（林原・瀬尾記）

## § 同窓会関係

地理学科第10回同窓会は昭和45年11月15日正午より桜蔭会館において開かれた。前年度の会計報告の後、会員相互の歓談。1時より会食に入り、お艶やかな敏本信之先生・渡辺先生、次回南極調査に向われる吉田栄夫先生をはじめ現職の先生方をも混えて出席者約40名。昭和45年3月、渡辺先生は停年御退官になり、4月には日本地理学会の会長とられたので、同窓会からもお祝いを受けられた。2時半より大和田順子先生によるスライド「東南アジアの旅」が上映され、穏やかな半日を送り、4時散会となった。

（岡崎記）